

## ◀ 今日の主なニュース ▶

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

### ◆景気「緩やかに回復」判断維持 財務省の4月経済情勢報告

・財務省は4月の経済情勢報告をまとめた。全国の景気判断は「緩やかに回復しつつある」で据え置きながら「中東情勢の影響を注視する必要がある」と表現を追加。判断は11四半期連続で維持。生産活動ではスマートフォンやデータセンター向けの半導体需要が堅調だった。企業からは中東情勢悪化による影響を心配する声が上がった。

### ◆貿易赤字7割減の1兆7144億円 25年度、対米黒字は22%減

・財務省が発表した貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は2025年度に1兆7144億円の赤字。5年連続の赤字。半導体関連や非鉄金属の輸出額が伸び、赤字幅は前年度から68.4%縮小。輸出額は前年度比4%増の113兆2422億円だった。3年連続で100兆円を超えて、比較可能な1979年度以降で過去最高だった。

### ◆正社員の4人に1人が「睡眠6時間未満」 マイナビ調べ

・睡眠と仕事に関する実態調査を公表。正社員の約4人に1人が睡眠が6時間未満だと回答したほか、3割近くが寝不足の頻度として「週5～7日」としており、十分な睡眠時間を確保できない状況が浮き彫りに。「個人の問題にとどまらず、働き方や社会の価値観とも関わるテーマ。業務と休息のバランスをどう取るかが、今後ますます重要」としている。

## ◀ 業界ニュース ▶

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

### ◆塩ビ協会長、生産・調達「6月以降は不透明」 エチレン減産響く

・塩化ビニール樹脂の生産企業などで作る塩ビ工業・環境協会の藤井会長(カネカ社長)は塩ビ樹脂生産について「6月以降の原料調達や生産は不透明だ」との見通しを示した。国内のエチレン減産を受け、各社は輸入原料の調達を増やす。中東情勢の緊迫でナフサ(粗製ガソリン)の調達難しくなり、塩ビ樹脂原料となる基礎化学品エチレンの供給も減少。

### ◆3月粗鋼生産4%減 中東影響で輸出停滞、中国材流入で市況悪化も

・中東危機の影響が国内の粗鋼生産にも影を落としつつある。2月までは復調傾向にあった粗鋼生産だが、3月は前年同月比4.1%減と再び落ち込みが鮮明となった。足元では中東向けの輸出が一部出荷できないなどの影響も出始めている。日本鉄鋼連盟は3月の国内粗鋼生産量が前年同月比4.1%減の691万5000トンだったと発表。12カ月連続の減少。

### ◆3月ハウスメーカー受注速報、受注減1社増え5社に

・ハウスメーカー各社が4月15日までに発表した2026年3月の戸建て注文住宅の受注速報値によると、12社中5社が前年割れとなった。パナソニックホームズは13%減と、2カ月連続で2ケタ減となり、期累計でも10%減。ミサワホームと三井ホームも前年実績を下回った。2月決算のヤマダホームズは16.7%増と好調な滑り出し。

## ◀ 注目商品 ▶

### ■YKK AP、宅配ボックス一体型の機能ポール

・ファサードを演出する新シリーズ「オルフェス」を新たに設定し、第1弾として郵便ポスト・宅配ボックス一体化型の機能ポールをラインナップ。水平・垂直基調のスクエアなフォルムと洗練されたディテールで、表札、インターホン、照明なども集約し、省スペース化と外観の統一感を両立。



### ■LIXIL、断熱窓改修による心理的効果を可視化する新サービスのプロジェクト

・東京都環境局が主催する令和7年度「断熱改修の新サービス創出に向けたアクセラレータープログラム」においてジオクリエイツと協働で断熱窓改修による心理的効果を可視化する新サービスのプロジェクト。窓改修前の部屋をスマートフォンで撮影、改修後の感情変化をAIが予測。



### ■電動工具ブランド「HiKOKI」から36Vコードレスセーバソー「CR 36DSA」

・36Vコードレスセーバソーの新製品CR 36DSAを販売開始。低振動・高耐久で解体作業に適したコードレスセーバソー。電池の防振構造とギヤ耐久性向上のための新構造を採用したことにより、高耐久と低振動を両立し快適な作業の提供が実現。

